京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價（▲一枚金三錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金…▲郵稅一ヶ月十五錢）
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金（▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別廣告欄…七十五錢）
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久靜一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六大三番　振替口座京城四五大番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番

獨逸殖民地（二）

ケー、オー生

統治作用の根本規定

又佛國でも大統領には議會外に特殊の立法權を與へてゐる、其外の殖民國でも可成單一なる主體に統治を委任して居るのである、此等の例はビスマークが一八八六年最初の保護領地法を制定する際、殖民地を憲法領土に入れず且つ皇帝一人の統治に歸するといふ特殊形式を原則とし、保護領地は皇帝の名に於て行使すと規定してある、其後一九〇〇年の改正保護領地法則ち現行法にも此第一條は當該の儘保存されてある、これが殖民地統治の國法上の原則となつてをる此原則よりして獨逸は殖民地統治は保護領地法の規定より直接間接に生ずる制限のなき限りは皇帝の命令權で司法行政立法の運用をしてをるのである以上述べた如く獨逸帝國の殖民地は帝國の國權に服從してはをるが然し帝國領土に編入せず且つ皇帝の命令權に一任した、普佛戰爭の結果、一八七一年二月佛國の領土から割讓させたエルサス、ロートリンゲンは同年六月の法律で直ちに憲法上の帝國領土に編入し之を帝國の直轄領とし憲法の條規は一八七四年一月一日から施行する旨該法律に規定せられてある、獨逸の之れに反し英國では殖民地は總て憲法領土であつて、世界中に星羅碁布せる領地は皆大英國憲法治下の一部である、母國の議會は君主及び殖民地の立法議會に優越權を有してをるものとしてある、然し英國は殖民國の最大なるものであつて、何人も英國に殖民地なしと云ふものは無い、加之英國程入加裟に特殊形式の統治を用ゐる國は無い、老子の所謂治大國若小鮮と云ふのは英國の殖民地統治の遣り方であるのだ、次にコロニーと云ふ義は、或民族が住慣れた故郷外に土地を開拓し定住すといふ意味のみを有した時代があつたが、今日では此言葉は内容に種々の意義を包含する樣に發達し來たのである、之を類別して見ると

第一　農業的殖民地
第二　商業的殖民地
第三　拓殖的殖民地

と云ふ樣に、今日は經濟政策上から三種に分けて居る、母國の種族が最大多數定住して開拓する土地は第三に屬する殖民地であります、此殖民地は北米或は濠州の如く白人が勞働に堪へる氣候の範圍内にあるのである、第一の殖民地は熱帶亞熱帶にある殖民地で白人が勞働に堪へず土着人種を使役して珈琲、ゴム、甘蔗、茶の如き母國になき産業を經營する土地である、阿弗利加南米、南洋、海峽殖民地の如きは之に屬してをる、此土地には母國から官吏事業家其他少數の母國人が來て居るのを例とする又此土地には土人虐待、奴隷賣買などの問題が附纏ふのが例となつて居つて、土人が多數なるが爲に文物制度慣習等の點で如何に土人を統治すべきやと云ふ最も困難な問題が附纏つてをる、何れの殖民國の歴史を見ても必ず一度は土人を強て開化せしめようとして失敗をやつてをる、和蘭のジャハの如きカリチユーヤシステムを強制し大失敗をやり、英國南阿の土人問題ブーア戰爭、印度の土人離叛、佛國のアルゼリー土地問題など皆之である。

外事一束

▲米國　佛國と平和仲裁條約協議を開かんと其内容は英米の其と同一也と。
▲布哇　を州とし白人勞働者移民を入れんと布哇民間より是亦一種の排日乎。
▲休戰　墨西哥大統領ヂーアス氏辭職の決し叛徒と五日間の休戰條約締結。
▲平和　談判開始の爲叛魁マデーロ墨國首府に赴く事を承諾し休戰條約の。
▲條件　はマデーロを政府最上顧問とし革命派より大臣縣知事を採用し現。
▲外相　デラバラー臨時大統領となり叛軍の要求を殆んど容れる事にして。
▲是れ　取も直さず現政府が全然革命軍に降伏したるに同じ叛軍勢力可想。
▲瑞西　國の同盟罷業は擴大せられ終に四箇聯隊の兵員を動かすに至れり。
▲露國　議會豫算委員會は波羅的艦隊附戰艦四隻の建造費支出議案を可決。
▲佛國　の摩洛哥救助遠征隊はペヒト河橋切し旨公電ありフエツ到着近し。
▲批評　米國前大統領ロ氏仲裁條約草案を批評し條約書可也も或國民より▲我々の嫌忌する移民を強いらるゝ場合に當り米國民は仲裁に不服耳と。

櫻の牛耳洞（下）

魚骨生

隈部山猿

其一
芳香自起惱郷情　墨水嵐山入夢明
頼有東風報花信　什將牛耳里邊櫻

其二
春風一路踏青行　蝶蝶流鶯自送迎
衣袂帽簷疑欲染　一村楊柳一村櫻

其三
數軒茅屋眇仙家　垂柳櫻花映翠霞
好景由來傳世上　香輪白馬自繁華

其四
清溪一路響潺湲　碧水縈回櫻樹間
故園春光何用憶　眼前即是小嵐山

其五
山櫻爛熳柳糸長　詩友高談又舉觴
醉臥香雲翠煙裡　花神引夢到仙郷

金　公　穂

其一
東風習々日遲々　正是櫻花四月時
牛耳洞天何處在　深山數里一筇枝

其二
東出城門半日行　巒花深柳導人迎
及尋一洞村中去　萬朶紅櫻眼忽明

其三
積香晩日醱蒸霞　萬樹櫻花三兩家
頻有年々遊履過　一村分外自繁華

其四
放懷鋼盧亂飛觴　三角山前已夕陽
便枕空壺花下臥　不知身在醉中郷

文苑

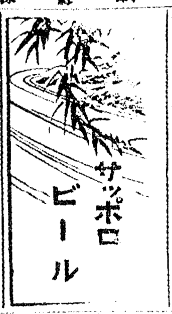
◎兀良哈の野

礫々庵

一

九千餘騎より成る淸正の手勢は、北なる大國人の肝を冷しくれむど、進み進めば偏に敵は風の前の塵に同じく、夢見心持の唐人を殘し、鐵の城の王子を擒して、兀良哈にとぞ攻入る。

沈みたる……それかと云へば春のデリケエトな悲哀の刺戟を持ちたる初秋の日も西に傾き、暮やかな夕陽も、蒼黒く唯かぎりなき波の彼方に消へ去らうとする、無限の海原には、かぎりなき空ぞ連なりて、オーロラ神の乗るとも見ゆる、黄金の温室にソト吹いた薇薔の色ぞと思はるゝ、小さな浮雲が、消え去る落日の空にぱつと咲き開きし如く、幾つも見らるが、其れもとき蒼空の底に吸ひ入れる樣である。斯した黄昏の色の中に、淸正は兀良哈の曠野に立ちて、森とした空氣の中



にて、眼路の限り眺めて居た。



召使れ初

第五十八回

墨法師

よもやとは思ひながら此道はそゞろに胸の騒ぐを禁め得ざりき、人の運命は春花咲き、冬雪降り、飢ゆれば空腹く、走れば息苦しきやうに定りたるものにはあらずして、何時如何なる處より、什麼なる幸の降り來らんとも知れず、又什麼なる禍の落ち來らんとも知れじ、若江の云ふ處果して眞にして此身の召し出しの事にてもならば、什麼として御受け申すべきか、原より願ふてもあるまじき幸福、出世の運に有り付くなれば、否哉あるべき筈なけれど、一應は父樣御心も問ひ奉るべきか、國尾樣御部屋子に上りたる上は、善きも惡きも旦那樣の心に任せたる身、今さら父樣召思を問ふ要もなからん上臈にてはよもあらじ、お年寄にてはよもあらじ、中臈かお若年寄か、又はお客會釋か、お中臈は殿樣の御側近う仕へ奉る者、時にはお伽にも參らねばなるまじけれど、奥方お付となれば其の憂ひもなし、我身如き不愛想見れ者、會釋の御役は勤まるまじ、什麼のお役を望むかとの御詞あらば、若年寄かお三の間かなるべくは殿樣の御目遠きお役こそ望ましけれ、お大名衆の御目は數く一生御奉公の身にならば、父上にも御孝養の時もあるまじ、旦那樣に御隊れ見出しに預る甘嬉しけれどさて什麼樣に御受け申すべきかと、顔の色の變るまで沈と考に沈みたり

『あなたは國尾樣お手引きあらせ、行く末御出世目の前に見ゆてあれど、この御殿には澤野樣御目鏡のやうに光りてあらするで、萬事にお氣をお付けなさらねばなりませぬ、國尾樣の白いと仰せある事、澤野樣には黒いでござります、澤野樣のお晝は國尾樣のお夜中、國尾樣の花は澤野樣の月でござります、この呼吸呑み込んでござりませねばとてもお役は勤まりませぬ』

『御心付有難うござります、私も疾うから氣付き、なるべく澤野樣のお目に睨まれぬ用心、うれやこれやに心を付けてはござりまするが、何を申すも足らぬ身、不調法はきざござります、此上ながら萬事にお心付けさせて、お指圖を願ふでござります、町家から一飛びに、廣々とした御殿へ出ては、黒暗から晝の眞晝へ突き出されたも同じ事でござります』

『あなた御如才なら、殊には忠義一圖のお生れ、御出世は見ねて居ります、澤野樣は根がお實家からお付きのお方奥方御最負にはござりまする、この御殿へ來らせられて、二十五六年の御忠節、お殿樣お氣にも入らせ、お手に屬いた女官達、この御殿に平分からござりませう、その中で忠義御奉公、一通りの事ではなりませぬ、今にも召し出しござりまするとも、こゝを味好う爲させられるでござりまするぞ』

若江は自ら經驗したる事情に由り當家奥勤めの難かしかるべきを告げ知らす、お進もした召し出し、什麼かの役樣を承はることもあらば、云ふまでもなく國尾の執成、國尾の執成とある上は、澤野一派の目に睨まるゝ事勿論なり、御殿には馴れず、年は若く、部屋子より一足飛びに、お目見得以上の役付となるを、誰とて空に見るべきぞ、況して反對派の人々をや、お側出世の幸福やかて身を亡ぼす不幸福に爲る事なきかと、何事にも親切なる若江は我身に關る事の如く案じ思ふなりき

『ぢやが、あなたの御出世は、國尾樣のお身に光りを添へるでござります、お頭の上に振り掛るお幸福、取り遁がしのないやう、御奉公第一でござります、然し、此事は内分、私が申したと誰樣へも、お物語りなされますな、今日明日か、遲くもこの十日の中には來る大きいお幸福を樂しんでお待ち遊されませ』



東京電報(廿二日)

▲皇后陛下還啓 伊勢大廟に御參拜あらせられたる皇后陛下は昨二十二日山田驛御發車本日無事還啓あらせられたり

▲東宮妃御經過 東宮妃殿下昨日の御容体は御平熱御脈も六十四五にして御食慾日に御增進あらせらる

▲佛國都の大慘事 佛國巴里に於て二十一日午前飛行機競爭大會を開きたるに一飛行機大臣席に墜落し爲めに觀覽中なりし陸軍大臣ベルトー氏は即死し總理大臣兼內務大臣モニー氏は重傷を負ひ非常なる混雜を惹起し遂に同日の大會は午後より中止したり(二十二日欄外再錄)

▲佛國飛行器慘事詳報 佛國巴里に於ける飛行機墜落の爲め陸軍大臣ベルトー氏の即死事件は近時飛行機界の大椿事として世界の注意を惹起したが總理大臣兼內務大臣モニー氏の負傷は兩脚を切斷され鼻柱を挫き兩眼を損じ生命危篤なり此の陸相を即死せしめ首相に重傷を負はせたる飛行機は高さ二十米突より墜落せしものなり尙ほ當日の觀覽者は實に二十萬人の多數にして遠く英、米、獨、露よりの觀覽者も多數ありたり(二十二日欄外再錄)

▲東拓總會終了 東洋拓殖會社は二十二日定時株主總會を開き利益配當案其の他原案通り可決したり

▲直取引禁止 農商務省は東京株式取引所に對し直取引は取引所法に違反し財界を攪亂の虞ありとし禁止を諭達せり右は全國の直取引に及ぼす方針なりと理事長中野武營氏は此が善後策に關し八方に奔走し居れり

▲北海道大火 尙は不熄 北海道の大火は其後益々熾んにして全道に…へ燃移りつゝあり

雜報

●鑛床調査の現況 農商工部鑛務課にては曩に田村技手を出張せしめ平安北道の鑛床調査に從事せしめ居れるが目下价川郡方面の調査を主とし引續き渭州及鴨綠江流域に及ぼす筈なりと云ふ

●定例長官會議 二十三日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き寺內總督を始め山縣政務總監、倉富、石塚、木內、荒井、宇佐美、小松、大屋、池田の各長官明石警務總長俵副總裁列席政務の打合せを爲し午前十一時散會したり

●地方特產物と韓銀の放資 最近韓國銀行にて調査せし地方特產物に對する同行放資額左の如し

店名	品目	一年產額及貿易額	一ヶ年放資額
本店	牛皮、大豆、玄米、大豆及小豆、精白米	三六〇,〇〇〇 一,一六二,五〇〇 一四四,九八七 一,六七一,四五〇 五六七,五二八	一〇五,二四五 四五,五七七 二〇六,六六二 四二四,五三一 四二六,四五七
仁川	再製鹽、醬油、酒	二〇〇,〇〇〇 四〇〇,一七一 一五七,〇〇〇	三三,三三七 三六,六九七 八〇三,九一六
平壤	大豆、小豆、黍、栗、小麥、白米、玄米、牛皮、[illegible]	一二〇,四六〇 一〇六,六八〇 一,一八九,九〇〇 一四六,〇〇〇 一三〇,〇〇〇 五七〇,〇〇〇 七八,〇〇〇 一五〇,〇〇〇 四〇〇,〇〇〇 一二一,〇〇〇 一〇一,〇〇〇 產物不明	九七二,八五五 三三二,八八四 八〇三,七九五 四一三,九四三 六五,〇五〇 七〇,〇一五 二九,五七〇 六〇二,五〇〇 五七,八七一 一三〇,三〇七
元山	[illegible]、明太魚、地金、大豆、生牛、黑鉛、干鰯、乾貝、牛皮、海參、藥材、鹽魚	一,〇〇〇,〇〇〇 八〇〇,〇〇〇 二三〇,〇〇〇 二一,〇〇〇 九〇,〇〇〇 七〇,〇〇〇 五〇,〇〇〇 四九,〇〇〇 三六,〇〇〇 二七,〇〇〇 一三,〇〇〇	八〇〇,〇〇〇 八〇〇,〇〇〇 二三〇,〇〇〇 二一,〇〇〇 七〇,〇〇〇 五〇,〇〇〇 四九,〇〇〇 三六,〇〇〇

●陞爵大園遊會 寺內總督の陞爵大園遊會は愈々來月上旬開催する筈に內定したる由

●東拓監事の重任 東洋拓殖會社監事は任期滿了の處二十一日東京に於ける總會に於て子爵松平直平、野田卯太郎の兩氏重任の事に決したり

●總督の代議士招待 寺內總督には二十四日入京の筈なる代議士原敬氏及淸答太氏発着の小川平吉氏井上角五郎氏を來る二十五日夜官邸に招待晚餐會を開く由

●大屋長官の園遊會 鐵道局長官大屋權平氏は鐵道協會の大會のため內地より多數知名の士の來京を機として其の紹介旁在京官民の主なるものに對し廿九日午後三時より南大門停車場前の官邸後丘に於て園遊會を催ふすべく夫々案內狀を發したり

●郡書記任用と講習 全道の各郡に配置すべき內地人の郡書記目下の缺員百餘名あるを以て其の補充に就きては數月前より頻りに人員の詮衡中なりし所曩に寺內總督上京の際地方官會議の席にて朝鮮に於ける郡書記の任用方に就き各地方官に對し依賴されたる次第もありて今般其任用方に付き山縣政務總監は內地の各府縣に通牒を發したる由なるが任用の資格に就きては先に發布されたる特別任用令に依りて採用の筈にて來る六月三十日までに內地よりの申込を受け任命されたる者は京城にて簡易なる朝鮮語其他郡書記に必要なる事項の講習を一ヶ月間爲さしめたる上夫々任地へ赴任せしむる筈なり

●東拓會計主任會議 東洋拓殖會社各出張所會計主任會議は去る十九日より開會しつゝありしが廿二日終了したるが主として出納事務の擴張なるため事務を打ち合せたるなりと云ふ

愛國婦人會彙報

▲總會式場位置 朝鮮本部總會式場は昌德宮秘苑內瑛花堂前の廣場にて其位置を定め宙台樓を貴賓の休息所に瑛花堂を式場、其前面に來賓、佩功章者、特別通常贊助員及遺族廢兵の席を會場左側に餘興舞臺を設備し會場は炎天雨天に備ふる筈

▲總會餘興 總會式畢て直ちに擬店及餘興を開始する筈なるが餘興種類は日鮮軍樂隊奏樂等元師匠の仕組になれる少女の手踊、一番、朝鮮網渡り及曲藝等なるが最後に陸軍々樂隊の功妙滑稽なる假裝舞踏ある筈なるが其曲目は左の如し

演奏曲目

一 行進曲(大公爵)、二 序樂(十字勳章)、三 長唄(鶴龜老松)、四 箏曲(都の春)、五 歌劇(林中の樵夫)、六 唄(勸進帳)、七 箏曲(六段の調)、八 舞曲(愛情の天使)

假裝舞踏

一 カレドニアン、二 ケーキオーク

▲總會模擬店 總會々場附近に十余個所の模擬店を設け來賓及日鮮會員等の接待に努むる由なり

▲準備委員總會 二十二日午後二時常務委員會を開き藤田顧問兒玉相談役石塚小宮兩副長其他の各常務委員十余名出席總會に關する大体の打合せをなしたるが來る二十五日午後一時三十分京城ホテルに於て準備委員總會を開き總會準備報告其他の要件に付協議を遂ぐる筈

●愛婦總會と幹部 愛國婦人會總會期も日に切迫し來れるが同幹部たる石塚、大屋、兒玉、小宮の各夫人諸氏は目下準備に忙殺され居ると

●鐵道協會の園遊會 帝國鐵道協會にては來る廿八日總會を開き午後一時より更に景福宮に於て園遊會を催ふす由にて會後寺內伯の名義にて在京官民の主なる者に何れも案內を發したり

●行惱の門外道路 近く解決を見るべし 南大門外道路擴張に要する民有土地收用の件は元理事廳以來の懸案に屬し殆んど一箇年餘の久きを閱みしたるが實價價格の折合困難なる爲め遂に解決を見る能はずして今日に及べり然るに偶々土地收容令の發布ありたるを以て當局者は此武器を提げて關係當事者に臨み一方篤と其利害を說示したる結果流石の難問題も漸く近く解決を告ぐるに到らんとせり而して其價格は表通り五間裏側五間迄は坪八十圓見當を以て落合し得べく又其關係者は內地人十三名朝鮮人十名にして二十二日一同を京城府廳に召喚せしが目下旅行不在中のもの二三者ありし爲め最後の決定を爲す能はず故に此等不在の人に對しては代理として出頭せるものより書面を以て本人の承諾を求むる事となりたれば今後の進行は殊に速かなるを得べし現に角本年中には工事完成し廣潤なる十五間道路を現出し得べしといふ

●改定小作料狀况 驛屯土の小作料は舊韓政府當時に定められたる從來の小作料は其實際收穫量に比し甚しく權衡を失し居れるのみならず中には情實因緣に據りて定めたる不當のもの尠からず依て是等不都合の點を矯正せん爲め綿密なる調査を遂げたる結果各郡夫れ〳〵小作料の改定を公布せられたるなり然るに多年の習慣に抵觸せる改革は何事に依らず不平反抗を惹起し易きを例とするを以て多少其實施を危まれたるも今日迄の經過によれば極めて圓滿に進行し居れる由なり

●忠淸道恩賜事業 內務部調査による忠淸南北道の臨時恩賜事業左の如し

忠淸北道の部 △授產事業 各郡別事業として普通農事米麥大豆馬鈴薯果樹及其他の種苗配付、種鷄の配付、農具の配付、蠶業、稚蠶共同飼育所の設置、蠶種及桑苗の配付、蠶具の配付、共同殺蛹等を行ふ事△各郡共同事業として農事の實地指導、農事講習、甘藷苗圃の設置、稚蠶共同飼育所擔當者の配置、機業の實地指導、機業傳習、機業新興の補助法を勵行する事△敎育事業(一)既設甲種公立普通學校(二校)同補助指定學校を公立普通學校とし(一校)補助(二)公立普通學校設置(六校)一既設乙種公立普通學校補助(一校)(二)私立學校補助(一七校)一公立普通學校存在せざる各郡に對し一校を撰定す△凶歉救濟事業 生產の扶助臨機相當と認むる事業を選定又は必要の物品を與ふ事

忠淸南道の部 ▲授產事業 各郡別事業として種籾の給付、雜穀種の給付、農具給付、桑苗給付、蠶種給付、蠶具給付、稚蠶共同飼育所補助機業組合補助製糸組合補助等を行ふ事▲各郡の共同事業として農業傳習所設置、蠶業巡回敎授、蠶業巡回講習、甘藷栽培等を勵行する事▲敎育事業(一)既設甲種公立普通學校補助(四校)(二)同乙種公立普通學校補助(一校)(三)同補助指定私立普通學校を公立に變更し補助(二校)(四)公立普通學校設置(十一校)(五)公立普通學校を設置する郡は私立學校に補助す(六)公州及洪州の公立普通學校には實業學校を附設す▲凶歉救濟事業 種穀給與(貸金と二分)食料給與(同殘額)

●三南鐵道工事 準備着々 湖南線江景裡里間の鐵道工事は過般小林組の手にて受負濟となり同組にては既に工區內二ヶ所に事務所を開設し五月末までに三百人餘の日人工夫入込む事となり目下起工準備に忙殺されつゝありといふ

●金融組合と小農 忠淸南道牙山、新昌二郡の農民中には貧困にして今季の苗代を作るべき種籾、購ふ資力なきもの多きにより兩郡衙協議して牙山金融組合に交涉し面長の保證にて牙山の小農民へ五千五百九十六圓新昌へは二千七百八十三圓、貸與する事となりたりと云ふ

●永宗島の養殖場 京畿道にては管內沿岸の漁業獎勵の第一着手として仁川永宗島に養殖場を新設すべきは既報の通りなるが右は過般道廳より掛吏員出張して工事に着手中なれば今兩三日にして竣成すべき豫定なりと

▲人さま〴〵▼(三十七)

岡田榮君

辯護士岡田榮君は三十三年判檢事登用試驗に及第した秀才である。爾來二箇年ばかり落魄を極めて居つたが、較能く遂に雲を得て判事に任ぜられ、岡山神戶大坂の各地方裁判所判事に歷補された、偶々日露戰爭開かれ、强露を掃蕩した跡の大連に民政を施く事となつたので、陸軍省から滿洲差遣を仰付かつて民政署審理官となつた、幾干もなく都督府が出來、其法院の判官、兼檢察官となつたが、四十年在官の儘朝鮮政府の補佐官に招聘されて當地に渡つたのである間もなく裁判制度の確立と共に野に下り茲に辯護士を開業した、昔て御用辯護士として臨時財產整理局の訴訟事件を一手に引受け、熾んに其敏腕を發揮したが、近來は何うやら御用の株を他に讓つたらしい。

●土地調査局の增員 勅令第百六十六號を以て土地調査局官制を改正し定員四人の技師を五人に增員する事を五月十七日付を以て發表されたり

●京城在鄉軍人團組織 京城(龍山を除く)在住人にして元軍籍にありし者は海津工兵中佐以下將校八十餘名下士以下九百餘名あり今回在鄉軍人團京城分會を組織することに決し準備委員に大橋第一分隊長村田第二分隊長を擧げ二十二日午後一時より憲兵司令部に會合して準備打合せをなしたるが近日在鄉軍人の重なる者を會して協議會を開き六月上旬を以て盛大なる發會式を擧行する由にて當日は寺內陸軍大臣、大久保駐箚軍司令官、松永第二師團長等出席して訓示又は祝辭演說をなすべしと云ふ

●技師の新任 農商務省技師中村新太郎氏は鑛務課に、農商務省技師菊池廣氏及前原重晴氏は內務部土木課に何れも總督府技師に任ぜられ各々勤務を命ぜられたり

●海軍記念日と小學校 來廿七日の海軍記念日には京城民團立各小學校は例年の如く課業を廢し海軍の將校を招待し日本海々戰に關する一場の講話を乞ひ右終りて校長は修身講話をなすべき筈なり

●地久節と高女校 來廿八日の地久節には京城民團立高等女學校に於て例年の如く午前九時より祝賀式を擧行する筈なり

●原氏の滯京期 二十四日入京の筈なる代議士原敬氏は二十七日午前當地發の事に內定し二十八日の鐵道協會總會には出席せざる由

●井上角五郎氏の入京 曩に當地を經て滿洲を視察中なりし代議士井上角五郎氏は二十二日入京天眞樓に投宿せり

●檜垣道長官巡視 題記の如く檜垣道長官には地方課の吉田、勸業の大村、稅務の佐野の三氏および車書記等を隨へ二十三日午前六時五分南大門驛發列車にて管內巡視の途に上れり

●工藤局長地方視察 農商工部商工局長工藤英一氏二十三日午前八時南大門驛發平安南北道視察の途に就きたり

●顯本氏の歡迎會 入京中の顯本元貞氏歡迎會は二十二日夜柳翠に於て開きたるが石塚、小松、小宮、倉富、俵、萩田の諸氏等二十餘名出席し盛會なりし

●時尾廳長の出府 曩に出府を命ぜられたる營林廠長時尾善三郎氏は二十三日上京總督府に寺內總督を訪問したり

●鐵道局の協會員出迎 鐵道協會出席委員平井副總裁以下三百五十餘名の一行は二十四日下の關集合直に釜山に上陸馬山に一泊して來る二十七日入京すべしとは既報の如くなるが右に付鐵道局より出迎の爲め矢野參事補を下の關まで出張せしめたり

●三浦女學校長の內地視察 京城民團立高等女學校長三浦直氏は內地敎育視察の爲め二十三日午前九時南大門發列車にて出發せり

●仁川祝賀設備委員會 仁川慶祝設備委員會は廿二日午後二時より民團樓上に會合設備委員會を更に三[illegible]委員を撰定各部の經費豫算を編成し委員長に提出する事に決し散會せり

●延安郡觀光團の消息 黃海道延安郡の觀光團約四十名の一行は過日入京各種觀光しつゝあるが廿三日總督府に到り總督より訓諭する處ありたりと云ふ

●黃海道觀光團來仁 黃海道白川郡及延安郡にては鮮人七十餘名の觀光團を組織し來三十一日仁川に來る由にて穀物協會にては直接取引上の關係最も大なるより目下歡迎の準備中なり

●仁川實女學藝會 仁川實科女學校にては來る廿八日土曜日生徒の學藝會を催す由にて當日は各生徒の製作品等陳列し一般市民の展覽を歡迎すと

●英國汽船入渡 英國汽船ダルハナ號は去二月廿八日石油を搭載し米國タルヤヒ出帆途中鎭南浦を經て廿三日午前九時三十分無事仁川に入港せり

釜山より(二十一日 社友發)

◉とう〳〵爆發藥使用の密漁船は去る十九日の夜巷山港北岸多大浦沖に於て檢擧され候、其船數十二、乘組員五十二名、其筋の警邏艇功を奏し所謂鼠賊と言ふ可きか、借て警察官は其證據品ダイナマイトの現存と彼等の自白とにより船頭を拘留十日他を七日の拘留に即決言渡しをなしたり、山口とか廣島とか長崎とか出合頭に密漁を思ひ立ち一組を二艘とし都合六組故に一組に一名の船頭之が矢表に立ちしものにて、警邏艇とは水產組合員の乘れる發動汽船に候。

◉李完用伯を刺せし例の李在明の家族兒童共九名今朝城津丸にて淸津より着釜、今朝京城に向つて出發いたし候。

◉警察署長橋本警視を歡迎の仙臺人會や、熊本縣人會や、有明同志會や、銀行家の懇親會や、四國人總會なんぞ何れも[illegible]本日を以て擧行され候。

◉今日の連絡船にて着せしは司法部の熊谷廳長山湯勇輔氏今夕出發するは退京着釜せし佛國公使ギ氏に候。

◉虎狩……虎狩、近く機張郡三洞面に行はれんとす飼牛六頭を噉殺せし猛虎の出沒によると、既に憲兵分遣所員は結束して起りとの由に候。

●本年度新入學生 學務局調査に係る本年度鮮人側中等以上各官立學校新入學者七百〇八名なるが之を各種學校別及志願者に對する比例を示せば法學校 本年度より豫科を募らず▲京城高等學校(入學志願者百三十八人)入學許可六十五人)漢城高等學校(入學志願六百〇一人入學許可百〇七人)[illegible]入學許可七十九人)漢城高等女學校(入學志願者百四十三人入學許可百十五人)仁川實業學校(入學志願者二百五人入學許可百四十一人)漢城師範學校(本科志願者千三百八十五人入學九十四人、速成志願者四百六十一人入學五十四人講習志願者二百十七人入學五十三人

●群山港の出穀 客年十月より本年四月に至る群山港の出穀總高は米二十三萬三千六百六十石此價額百六十三万七千百七十圓大豆一万三千七百三石價格八萬千九百六十三圓內本邦外國へ輸移出米十八萬九千五百十三石なりといふ

公人私人

▲本田幸介(水原勸業模範場長) 巴城館
▲粟野鍵一(釜山民團民長) 不知火旅館
▲井上角五郎(代議士) 天眞樓へ
▲加藤恒忠(代議士) 京城ホテルへ
▲泥川正直(辯護士) 天眞樓へ
▲東福寺子四郎(醫師) 安東縣行
▲向井嚴(平壤控訴院檢事長) 平壤行
▲池田嘉吉(韓銀第一支店長) 大邱行
▲淸水洋治(同城津出張所長) 釜山行
▲津村甚之助(同羅南出張所長) 同

▲京城手形交換高▼

五月	枚數	金高
廿三日	一六八	九八一,一三〇,五一九

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 廿二日の分
乘車客 六二八 下車客 九四三
乘車賃金 一,三九八,八〇
▲南大門驛發送高 廿二日の分
發送 四九噸 到着 二〇七噸
貨物賃金 一,二五五,六四
▲龍山驛乘降客 廿二日の分
乘車客 二七七 下車客 二四一
乘車賃金 一九九,四八
▲龍山驛發送高 廿二日の分
發送 三噸 到着 一三九
貨物賃金 五,八二一

▲茶袋▼

大隈伯の新日本が生れて近く二條公爵監督の社會政策が次いで出で、板垣伯監督の日の出公論が發刊された、堂々たる貴紳の前後言論界に出陣せるは國家の爲めに慶すべき事である▲英國では電氣を用ひて穀作を助くる方法を試驗中であるとの事、實に有望なる福音と云ふべしだ▲此福音に反して佛國の巴里では飛行機の大慘事を現出し國家の樞機に參する人をして非業の最期を遂げしめたのは實に氣の毒な事である、我國でも飛行機試驗の盛んにならんとする今日、豫め注意し如此慘事を惹起さぬようにするが肝心である▲來る十月伊國チユランに開かるべき萬國議員會議には、軍備制限、仲裁條約、空中戰禁止等が議題となるらうだ、今後の國際の關係が一層密接するようになつて來れば戰爭を不可能とする時代は自然に來る、萬國議員會議の結果若し此の思想を傳播することに補ふことあれば、議員會も無用のものと云はれぬ

●寺內陸相の弔電 東電の報ずるが如く去る二十一日佛國巴里に開催…二十二日着したるを以て寺內陸相には直ちに弔詞及見舞の電報を發したり

●浪花節 …二場 三番目太鼓當者三場、西番…十八番の內勸進帳二場

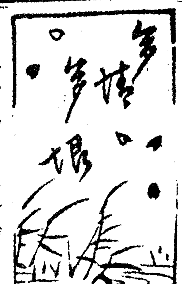
●曼竹小智榮一座の娘義太夫 (オイ三)三十三所觀音寺さわり(小萬)播州皿屋敷(小龜)攝州合邦が辻(小智榮)大切た午長右衞門帶屋の段

▲神戶電報引 (前場) 三三,二〇〇 (後場) 三三,六五〇
▲大阪同 一〇三,五〇〇 一〇三,八〇〇
▲東京同 九九,七〇〇 九六,六〇〇
▲新潟同 九六,六〇〇 九四,六〇〇

▲大阪期米 ●廿三日前場當月寄十六圓九十錢▲止九十錢▲六月寄十七圓八錢▲止七錢▲七月寄十七圓三十四錢▲止三十二錢

▲仁川米豆取引 ●廿三日前場當月出來不申▲六月寄十一圓十一錢▲最高低無▲止十一錢▲七月寄十一圓四十九錢▲最高五十八錢

の飛行機大會の際過つて一飛行機墜落し陸軍大尉ベルより氏は即死し同總理大臣モニー氏が重傷を負ひたるの公電



藝妓の半生（十五）　京城 揃翠樓 江戸奴

前號にも書いた如く都踊りは一日増しに不入で請元たるものも顔色は無い、遂には一行の給金も支拂はぬ、否支拂へぬ始末に女の身にアラレもないストライキを演じて駄々を捏ね出した、元來自分達の不量見から起つた事ではあるが實際明日食ふ物が無いと云ふドン底であるから無理もない次第である、左樣なつて見ると領事館でも在留日本人の體面に關すると云ふので仲裁もし又有力なる在留者も調停に入ると云ふ始末で好い案配に乾物にもならず何うにか斯うにか博覽會中はゴタ〳〵しながら打ち續けた、歸る時にはダイヤモンドの擬でも買つて金の三味線鉉でも彈いて見る位、胸算當も左樣云ふ譯でガラリ外れて今は旅費さへ覺束なく博覽會は終つても出立ない此の調子だつたらば末始終は米國の土に化るより他はないと何と云つても女氣の心細く先立つものは涙斗り『斯うと知つたら親姉弟の寫眞でも持つて來るんだつけ』なんて云ふ女もあれば中には又『妾しが死んだら髮の毛を骨だけは是非送つて頂戴よ』嘸お母さんが悲しがつてだらう』と遺言めいた事を云つて今にも死ぬかの如く歎き上げるのもある位、三人寄れば姦すしと云ふのが三十三人も口を揃へて愚痴るのだから堪らない、然かるに其の年の十月下旬に一行の内十名丈けの歸國準備が出來て懷かしい故郷に歸れる事となつた、幸にも江戸奴は其の内の一人であつた、ヤツトの思ひで歸り着いた江戸奴夫れに懲々して當分は稼ぐ氣にもなれずブラ〳〵して居たが二十一の春、深川仲町から小蝶と云ふ名で出て居る内關係の付いたのが當時醫科大學生であつた山脇權藏と相場師の藤井鎌衛の兩人で殆んど競爭的であつたが何分一方は書生、一方は金毅回りの好い相場師と云ふのだから無論相撲にならない、金の切れ目即ち緣の切れ目である馬鹿を見たのは山脇で藤井はマンマと凱歌を奏した、所に出て居た期間も僅かに一年と二箇月で今度は日本橋區吉川町では料理即ち通稱柳橋から顯はれたモウ其の時には藤井とは切れて居たのだ此處でも間もなく神田邊ちの商人井村初太郎と云ふのに可愛がられて居たが二十三の春即ち四十二年に都合あつて京城は揃翠樓から出た次第である一緒に米國へ渡つた連中の内で後に殘つた玉三郎（故守田勘彌の娘）は遂々彼地の土と化つて終つた江戸奴の如きも愚圖々々して居たら或は何うかつたか知れたものでない思へば運の好かつたことである、而して現在の江戸奴は朝鮮の土になるのだと云つて居る米國の如な奇麗な土地でさへ其の土に化るのを嫌つたのに此の汚穢い朝鮮の土に化るのを喜ぶとは一向合點が參らぬと不審するのは野暮である、此方へ來てからの江戸奴隨分壯なものだが併し大したれ馴染は無い樣だ、は嘘、何にしろ『年期が滿たら夫婦ちやぞね』がある程だから知れたものだ（終）次は

清華亭のれ多福

演藝たより

●壽座　廿四日曾我の家一派の藝題は一番目說教三場、二番目三番引拔き

廿四日の語り物に御祝儀寶の入船（入登太夫）本功記五段目（小勇伊）玉藻前四段目（小富）鏡山又助住家（小吉）八陣八ツ目（富四

相場電報（二十三日）

▲大阪株式（六月限）

▲電鐵	同	五八、二〇〇	五八、〇〇〇
鐘淵	同	九七、九〇〇	九八、〇〇〇
紡績	同	九八、〇〇〇	九七、七〇〇
▲株式	同	一一八、七〇〇	一一六、八〇〇
同直	同	一二〇、八〇〇	一二〇、二〇〇
取引	同	一〇〇	一一八、八〇〇

五月寄十六圓八十八錢止八十七錢▲六月寄十七圓四錢▲止三錢▲七月寄三十七錢▲止二十錢

▲最低四十五錢▲出九十四錢▲後場五六月出來不申▲七月寄十一圓五十一錢▲最高六十錢▲最低四十九錢▲止五十四錢

銀行員の詐欺取財

漢湖農工銀行春川支店長小橋薫（四五）が春川郡府內面に居住する貿易商增信太郎（四三）と共謀しての私印盜用文書僞造行使詐欺取財事件は今回豫審終決して京城地方裁判所公判に付せられたり事件の大要を記せんに明治四十二年十一月二十二日春川郡府內面司倉里方蒼榮なる者に對し畓及家屋價格金千二百餘圓の不動產を流質契約付典當となし四十三年四月三十日を返濟期として金二百圓の定期貸付を爲し後ら更らに同年十月三十日迄延期し前後二回に金七十五圓の內入辨濟を受けたる期限後辨濟を爲さず爲めに數回督促の末同年十二月三十日迄延期す可き旨通知したるに更らに辨濟せず遂に典當物件は銀行所有に歸したり然るに薰は該物件の價格が元利金より非常に多額なるを以て私かに利を獲んと企圖し相當の手續をも爲さず豫て懇意なる信太郎を自宅に呼び情を明し信太郎に元利金にて賣却し張簿面には債務者より辨濟したるが如く整理し信太郎より現金百圓を收受し又四十四年一月四日自宅に於て銀行取引上の華客及事務員を招待し新年宴會を開催したる費用金合計九十一圓を支し內六十六圓の酒肴代を料理屋に支拂ふ爲銀行用[illegible]府用紙に捺印丈けさせ百二十圓を支拂ひたる如く爲し殘額一十餘圓を騙取し尚ほ銀行員が地方に出張したる如く二三の事務員の印を盜用し旅費支給したる體にて金數百圓を騙取したるものにして來る二十六日標原裁判長の係りにて長尾檢事干與し公判開廷せらる筈にて被告辯護人として高橋辯護士出廷す可しと

●夜中の金庫掻浚

廿二日夜十時十分頃旭町二丁目雜貨商一法寺方へ二十五六位の內地人にて羅紗の筒袖に靴と云ふ扮裝の怪げなる男ヒヨツコリ舞込み酒と菓子を呉れとの事に店のものが立上り一隙を見濟し腹這ひに莨に火を附けべく裝ひて有合の手提金庫（實額十圓在中）を手早く掻浚ひ闇に紛れて飛び出したるより夫れ泥棒よと早速跡追掛け南大門の電車通りに出たるが終ひ行衛を見失ひ折柄來合せし巡査も次いで搜索したれど何等の手掛りもなかりしと云ふ尚は其前夜も同店にて豆一箱を盜まれたりとの事なるが未だ宵の口にさりとは物騷の事と云ふべし

第一樓の紛紜

▽折角要用しなさいよ

近頃大活動大發展をなし居れる新町遊廓第一樓本店に犬も食はぬと云ふ嫉妬喧嘩に花が咲いて切るの突くのと一ト騷動を演じたるが今事の起りを繹ぬるに樓主の赤萩與三郎が本店を開業したのは明治三十七年の十月にて女將のとく（三四）は元仁川にて藝妓稼業を仕て居た程の女とて樓內の事は一切萬事切り盛りして五分も透さぬ女振りに開業匠もなく娼實繁昌と來たので擴張とかの必要とかを感じた時は三十八年の秋から事へ掛けての事で翌けて三十九年の一月下旬準備成つて日本へ出張六七名の娼妓を手に入れた內に長崎縣北松浦郡吉井村字吉田生れの青木しのと云ふのがあつた彼れは當時東京は內藤新宿に勤め中であつたが鞍替を希望して居るとの事に一度登樓の上女郎振りを驗した所スツカリ氣に入つたので其れ前の心掛け一つで末は支店の女將にとて連れ歸り三十九年三月二十七日支店開業と同時に支店へ移し間もなく仲居となし女將の目を忍んで巫山戲て居たを遂に看破せられ死るの活るのと大騷動の持上つたも二三同業者の仲裁にて公然妾とする事となつて落着した、此の事あつて後の女將れとくは棄て鉢の氣味で藝妓時代の馴染客仁川海岸通りの木炭屋日野某とやらに手を出したとか關しかけ鬼とかで大騷動を仕出來したが又く某々等の仲裁で事なく濟んだ樣は而降て仲居とで平穩無事であつたのに一方妾のたしのが不料見にも娼妓師江の馴染客岸庭に壽と云ふ郵便局の會計掛りなり男を寐取つて入れ揚げてなとかの評判が立つたので主人は嫉妬から女將は嫉みから右左りかた、サア〳〵〳〵と詰め寄つたがれしの一切知らぬ存ぜぬの一點張、帳簿を調べると確かに二百四五十圓行衛不明の現金があると話しは愈々紛れて來て時も時馬庭は公金費消で收監されたので此の事も有耶無耶に葬られて終つた事があるが以上の噂を有する三八が万字巴と入り亂れて居るのだから常にゴタ〳〵が絕えないツイ先日の剃刀騷ぎは擴張に伴ひ娼妓仕入の爲め上京中なりし主人が歸京後三日程本店に入浸つて居たので扨てそれーのが荒神樣の如になつて荒れ込んだのなどが此れはホンの內部事にて別段苦勞にする程がものはなけれど此處に油斷のならないは例の馬庭某が過日出獄して支店の女將れしのと關係のあつた如な事を云つて手切金を取るとか何とか云つて居ることとなり右語に曰く用心に勝く口なしと

●浮浪者拘留さる

佐賀縣佐賀郡鍋村字岸川百七十番地當時住所不定佐藤敬次郎は靜所を徘徊せしより浮浪罪として本町署にて拘留三日に處せらる

●東京大相撲番附

は二十二日を以て左の如く發表さる

東方

張出	西ノ海
大關	常陸山
横綱	駒ケ嶽
關脇	相生
小結	高見山
前頭	相ケ崎
同	山泉
同	朝汐
同	響國
同	浪ノ音
同	八島山
同	雲龍
同	小常陸
同	綾浪
同	碇潟
同	入間川
同	大蛇山
同	佐賀ノ海
同	近江川
同	立三浦
同	十龍
同	紫雲龍
同	大綠
同	大湊

西方

張出	梅ケ谷
横綱	太刀山
大關	國見山
關脇	伊勢濱
小結	千年川
前頭	玉椿
同	鶴渡
同	黑瀨川
同	綠島
同	十州山
同	鳳
幕下前頭	神崎
同	櫻川
同	玉ノ川
同	日本海
同	梅ノ川
同	小野綺
同	立汐
同	柏戸
同	尼ケ崎
同	房相山

前頭	五十嵐
同	有明
同	上ケ汐
同	鏡川
同	梅ノ花
同	大鳴門
同	文明
同	陣立
同	玉ノ山
同	平石
同	石山
同	卯石龍
張出前頭	大蛇潟
幕下前頭	寒玉子
同	命ノ花
同	大ノ崎
同	浦ノ島
同	男山島
同	山田川
同	横綱岳
同	千葉岳
同	太刀勇
同	勝田岳

●科料のかず〳〵

仁川松坂町二丁目三の三下宿業今戸松三郎は軒頭に下宿人氏名を掲出せざるを以て科料金四十錢に▲松坂町二丁目下宿業豐田梅吉は下宿人の轉居したるを屆出さるを以て科料金三十錢▲濱町二丁目人力車挽山本春吉は招喚に於て法被を着せず且無鑑札なりし爲め科料金九十錢に▲京町二丁目同業谷川宮吉及仲町二丁目谷口嘉次郎の二名は番號のなき法被着用の爲め科料金二十錢に▲仲町二丁目石井武藏は法被を用せざる廉を以て科料金三十錢に處せらる

●炭代でキーサン

仁川府內面畓洞沙村柴炭商官敎藝方店員南興壽（二七）は去十九日主家の炭約二百錢代四十二圓餘を橫領し內面のキーサン某に現を拔かし豪遊を極め居たるを二日仁川署の刑事に探知せられ捕縛さる

●毛布を窃取さる

廿二日午後二時より六時までの間に於て仁川宮町二丁目六番地有間操方にて自宅裏手に干し置きたる二枚續きの毛布一枚何者にか窃取され屆出たり

●高峰筑風氏入京

來る廿七日愛國婦人會朝鮮本部總會に就き同會にては特に筑前琵琶の名手高峰筑風氏を招聘し餘興として演奏を請ふ由にて同氏は當時滯京の上駐劄軍隊の慰問演奏をも爲すべく廿二日入京し二十三日夜長谷川將軍時代に在京し丸る當時の



蟇仙人の仙術の法（十）

余の視たる片田源七翁の實驗に就て　禰田山水

蝦蟇仙人の火渡り及び熱湯掬ひの理法の解き、前回に於て其物質的方面の解釋として、局部組織の習慣的發達、局部に於ける末梢神經の智覺力の慣習的痲痺と言ふことを述べたが、尚ほ更に二三の理由がある、それは即ち吾人自身の慣習の錯誤と、術者（蝦蟇仙人）の群衆心理の利用である。

扨て吾人自身の慣習の錯誤とは何ぞと云ふに、凡そ吾人の肉體が熱氣の刺戟に依つて起す機質的變化に三種の狀態がある、即ち第一度火傷、第二度火傷、第三度火傷である。

その第一度火傷とは熱の刺戟を受けて單に炎症を起したので、第二度火傷とは表皮に水胞を生じ、第三度火傷とは皮下組織にまで及ぼしたものである。

處で吾人は其第何度火傷なるを問はず一度吾人の身體の一局部に此火傷を受くるとせんか、其局部の末梢に劇しき疼痛を覺ゆる、そして其神經系の疼痛は吾人の精神に堪へ難き苦痛を與ふるのである、此苦痛の經驗より吾人は常に熱に對して相當の警戒を怠らない、炭火が一寸とはねても電光の如く其手を引き、体をかはす、しかし過ひかての赤ん坊はやもすれば炭火を掴らんとする、是は興覺火傷の苦痛の經驗が無いからである、斯くて吾人は其警戒の慣習より恐怖の感情を生み、例へば十の刺戟に依つて始めて第一度火傷を起すものなるを、七又は八の刺戟にも是れを忌避するのである、是は抗すること、吾人が非常に高い屋根に登つて、其屋根の末端に佇立し、吾人の身体の重心が屋根の末端の足場より、五分でも一寸でも外づれた場合に始めて墜落の結果を來すものなるに、事實に際しては末端より四尺も五尺も隔てながら、猶ほ墜落の危險を思ふて無闇みに長れ其体れのゝくが如く、過度の警戒より第一度火傷を起すべき最後の十の刺戟の間一髮の分度まで堪へ得ないのである、換言すれば吾人は第一度火傷以下の刺戟にも來るべき第一度火傷の苦痛を怖れて對抗を避けつゝあるので、何人たりとも若し其一切の習慣的感情を抛ち、氣を靜め心を平かにして熱湯又は其他の熱氣に對し對抗力の實驗を試みんか、必ず各自警戒性の發作に基く日常習慣の錯誤を發見自覺するに相違ない、そうして普通人の苦痛とする第一度火傷も、前回述べたるが如く練習に依つて局部組織の發達と局部神經の慣習的痲痺に依つて漸次其程度に相違を來すので、蝦蟇仙人が熱湯を掬ひ火を渡れば、普通人には一寸と驚嘆さるゝが別に夫れ程破天荒な事柄ではないのである、とは言へ總て此種の事には必ず最後に一の精神作用が伴へるは輕々に看過す可らざることでそは前より言へるが如く後段精神編に於て一括論詳することとする。

●悲慘なる一家へ（廿二日）

一金一圓也　川崎善助　岡田幾太郎



登錄商標 最上醬油 山十印
千葉縣銚子町 釀造元 岩崎重次郎
京城本町壹丁目 發賣元 三巴商會 電話七五三番

梅毒根治の確効ある新藥六〇六號を左の規定に依り治療を施行す
一、治療せんとする者は先づ病毒の有無を驗診(ワッセルマン反應)し之に依て新藥を注射す
一、新藥注射後更に病毒有無の驗診(ワッセルマン反應)を行ひ根治したるを確認して注射を終る
一、本治療は極めて秘密に行ふを以て希望者は本人若くは書狀を以て當院河野醫師に内報すること
本町四丁目(電話二四番) 贊化病院

村井弦齋先生命名
糠精(こうせい)
脚氣患者の必ず常用すべき衛生食糠なり糠精の常用は我國一種の風土病を驅除す百發百中效驗神の如し
京城本町三丁目 龜屋商店 電話二十七番 振替二十七番

大日本家政學會編纂 新刊
家庭の栞 婦人文庫 帝國文庫
朝鮮特約販賣所 南山町二丁目四十一番 共盛舍 電話二八八番

年金恩給長期立替 共盛舍内 大野

●●●●山師的職業にあらず●●●●
三圓資本獨立新營業
●確實永久的國家經濟衛生事業なり
●本業又は副業にても月收四十圓以上
勉强次第全國各地へ特約店又は代理店
募集●二錢郵券封入照會あれ
大阪市北區北野芝田町 ●洗濯石鹸舖
大阪毎日新聞代理部特約店 大阪朝日新聞特約店
大阪 精豐社

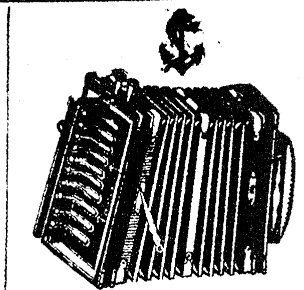
完全なる健康法は善良なる滋養を得るにあり



蜂印香竄葡萄酒
は佛國葡萄酒の精粹なれば醇良にして佳味日常の滋養劑として最良好適たる事を實地に保證せらる速に飲用あれ
發賣元 東京 近藤利兵衛

名譽賞金牌有功賞金牌受領

弊所は從來端艇製造販賣致居候處多大の御愛用を蒙り奉多謝候尚精々勉强可仕候間續々御用命を乞ふ 新造ボート長さ一丈三尺三四人乘附屬品付金二十圓
三人乘 四圓長さ一丈一尺二
中古ボート賣物有り金二十四五六圓迄種々有學校用運動用競爭用貸船用又種々有
御注文者は願上候但御申込の際金高の二割半前納の事
大阪市西區難波島町二十五番地 製造販賣 ボート 山下造船所

新荷着

獨逸製 錨印 最良 手風琴
音調正確價格低廉
右大小各種着荷仕候
京城本町 織居商店
電話(時計部 二六二番 自轉車部 四八〇番 寫眞部 三三九番)

夏物大賣出し
五月廿五日より 卅一日まで
▲七日間▼
▲本年夏物は實に奇拔で確に柄合は一進歩して居ります丸一はどうかして御客樣方の御滿足遊ばず樣と新柄は洩れなくいつもより種類多く取揃へ充分御氣に召すよを御覽に入れます何卒御來店の程を願ます
京城本町三丁目 丸一吳服店 電話六三五番

目錄進呈
洋式帳簿
弊舖種の出來合品あり大概の御註文は直に間に合ます尚特別誂のものは如何樣にも調製致候
東京銀座三丁目 伊東屋 電話京橋 一三二九・一七九六 振替口座五一一

廣告
日本蓄音器會社製造大蓄音器の美音廣告の爲め聽聞料を以て廣く公衆に妙味を知らしむ聽聞料一時間六十錢二時間以上は五十錢平閒術種類は澤山有之候御用命被下候へば店員直に出張可仕候
五月 日
京城本町一丁目東通り支那領事館學校前 京城聲友會 電話一三七一

夏衣大賣出し
來る五月廿一日より
單地浴衣地用名仙
壹反に付縞紛絣類總て珍柄
四圓 五圓 六圓 參種均一
其他縞絽羽絣縞絽着尺並に美術半衿各種取揃申候
弊店獨特なる均一販賣破格の廉價此の機を逸せず多少共御用命仰付被下度偏に希上候
明治町一丁目(電話四十三番)
秩父屋 関根出張店





是は目下東京に於て紳士淑女間に大流行の
(特許鞄形廿五錢)
口中香水 カオール
の鞄形容器です
此内には常に何人にも必要な衛生的香錠が入つて居ます
全國有名賣藥化粧品店にあり

御婦人方の安心の出來る
婦人サック 壹個 金一圓
獨乙製赤ゴムにして紳縮自在皮肉同樣の使ひ心最も良く永久使用にもし得是れを用ゆる時は如何なる場合にも
梅毒りん病等の傳染することなく
赤局部を傷けることなし但懷姙を防げば姙娠は決して用ゆべからず
月經時には最も安全にして必要なり
●男子專用 芳香殺菌 衛生サック
十個入卒錢廿個入一圓十錢卅個入一圓五十錢最新輸入の肉色ゴム製精品にして尠も完全に一ヶ數回使用に堪ゆる良品なり
發賣元 東京麴町區飯田町四丁目角 振替東京一六六九 岡天堂藥局

五月廿四日より 夏ものの大賣出

+ 赤十字社總裁 愛國婦人會總裁 赤十字院長橋本子爵處方
閑院宮兩殿下御嘉納藥
胃腸肺病 原因療法 宮内省侍醫岩佐男爵處方 救驗丸
強力なる消化、殺菌、防腐、滋養の作用を具備し胃腸を健全ならしめ肺結核の肝菌を撲滅し其他赤痢チブス等の諸傳染病を豫防するに偉功あり
婦人諸病 民間療法 壯婦丸
ヒステリー、子宮病、產前、產後、血の道一切、又りまい、頭痛不眠、便秘、神經衰弱等には男女共に偉功を奏す
○橋本救世丸は子爵橋本先生が日本赤十字社病院長として又陸軍々醫總監として常に胃腸肺其他流行病患者に使用せられ多年の經驗を積まれたる靈藥にして日露戰爭に於て我軍將校下士卒の常備藥として又近時滿洲軍用藥として特功を奏し醫術に於て先進國たる獨逸よりも其成分を照會し來りたるに徵しても如何に其效力の偉大なるかを知るに足るべく候
○岩佐壯婦丸は子爵婦人病研究に造詣最も深き男爵岩佐先生が明治初年以來宮内省の勤仕一等侍醫として從來婦人病に用ひつゝありし何れも舊式なる漢法藥にして醫化學の進歩に基きたる良藥の未だ發見せられざるを憂へ特に處方せられ朝野の貴女紳士間に信用を博せるものに候
○販賣取次は本舖又は代理店へ申込まるべし○全國有名なる藥店にあり
○藥價十錢 參十錢 七十錢 一圓二十錢 一圓八十錢 ○効能書贈呈
○藥價は爲替又は振替貯金に、御送金ありたし
東京深川公園 本舖 合資會社 福井堂 電話浪花長五六九 振替東京二三六六
朝鮮京城代理店 吉城贊化堂 電話一〇二

遊漁御案内
漁冊漁具舖は勿論經驗に富める案内者附
仁川仲町三丁目(民團役所通) 仁川用達社遊漁部 電話二三五番

DIGESTIN
日、英、米、露、獨、伊、白、印、加、墺、濠、瑞十三ケ國 政府特許 專賣
▲銀賞牌受領!(發明品博覽會日英大博覽會に於て)
新消化藥 ヂゲステン
本品の特徴は彼のヂアスターゼと異り單に澱粉質のみを消化するものに非ずして克く食物中の主要成分たる蛋白質をも完全に消化血中へ吸收せしむる世界無比の胃腸最新藥なり▲販賣所は各地藥店にあり(備は詳細說明書は御申込次第進呈す)
發賣元 合名會社 圓城商廛 東京市日本橋區本町三丁目

仁丹


三輪井上兩士方劑 消化と毒けし
●仁丹は此工場に於て嚴正なる監督の下に絕對に精製せらる
故に藥効最も的確なり 即刻御服用あれ
●仁丹製藥場の實景
朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

●諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 各製造業御用達 官衙御用達
京城本町三丁目 大阪野村德七代理店 田中友吉商店 電話八三一